

# “鳴門海峡の渦潮” を世界遺産に！

## ～ 眺望景観から世界遺産の区域を検討～

自然・環境マネジメント研究部 環境計画研究グループ 大平 和弘



### ■鳴門海峡の渦潮（うずしお）を世界遺産に

兵庫県淡路島と徳島県の間にある鳴門海峡では、世界的にめずしい自然現象である「渦潮」が発生します。このうずしおを世界遺産に登録して守っていくための調査を進めています。

### ■鳴門海峡の眺望景観

鳴門海峡の眺め（眺望景観）は、日本を代表する景観として「日本八景（1927年）」に選ばれるなど古くから親しまれています。この眺望景観を保護するためには、眺望地点から遠い山並などが、どの範囲まで眺められるのかを調べる必要があります。



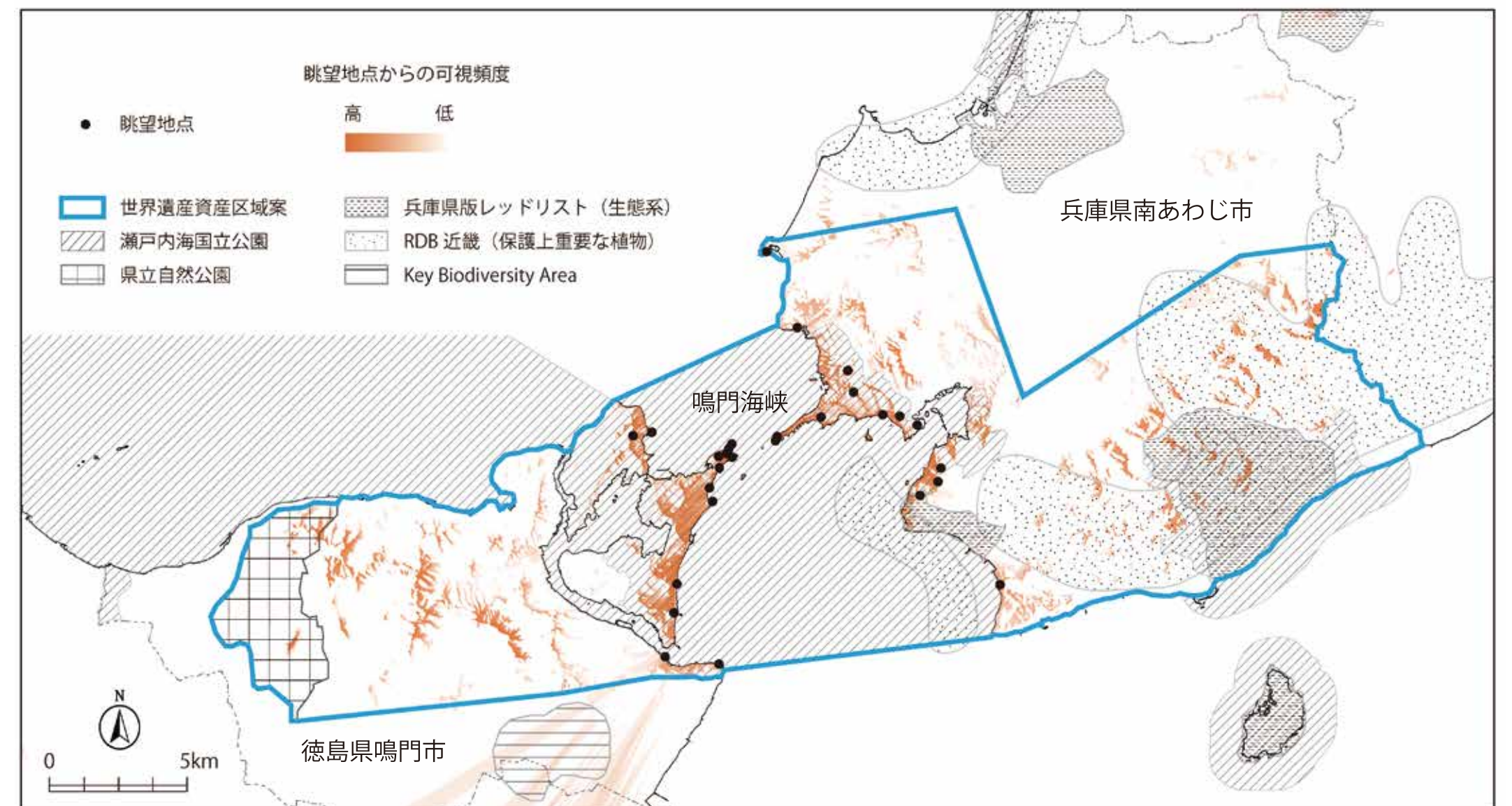
鳴門山展望台（鳴門市）からの眺望景観



若人の広場（南あわじ市）からの眺望景観

### ■世界遺産の資産区域（バッファゾーン）の検討

眺望地点を28地点設定し、GIS（地理情報システム）を使って眺望地点から地図上のどの範囲まで眺められるのかを調べました。下図で濃いオレンジ色の部分は、多くの地点から眺められる重要な地域であることが分かりました。今後世界遺産のバッファゾーンとして、景観の保護を検討していくべき地域と考えられます（下図青枠の範囲）。



眺望地点からの眺められやすさ（可視頻度）によって検討された世界遺産のバッファゾーン案